

目 次

「Ctrl」キーを押しながら目次欄（下線部分）をクリックすると、
該当ページまで移動します。

<u>出席委員</u>	2
<u>臨時委員長</u>	4
<u>予算審査特別委員長の選挙</u>	4
<u>予算審査特別委員会副委員長の選挙</u>	4
<u>財務課の予算審査</u>	5
<u>税務課の予算審査</u>	13
<u>収納対策室の予算審査</u>	15
<u>総括質疑及び現地調査箇所を選定</u>	17

※本会議録で使用している漢字は、汎用性等を考慮し、「JIS第1水準漢字」を使用しています。

このため、人名や地名などの固有名詞等において、実際の漢字とは異なる標記となっている場合があります。

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月4日月曜日分）

平成28年 利府町議会予算審査特別委員会会議録（第1号）

平成28年3月4日（金曜日）

出席議員（1名）

議長 櫻井正人君

出席委員（17名）

委員長 後藤 哲君

副委員長 遠藤 紀子君

委員 鈴木 晴子君

西澤 文久君

小淵 洋一郎君

安田 知己君

木村 範雄君

土村 秀俊君

吉岡 伸二郎君

高久 時男君

鈴木 忠美君

吉田 裕哉君

永野 渉君

及川 智善君

渡辺 幹雄君

郷右近 隆夫君

羽川 喜富君

欠席委員（なし）

説明のため出席した者

副町長

伊藤 三男君

財務課

課長

小山田 春彦君

財政経営班長

鈴木 真由美君

財政経営班主任主査

石垣 伴彦君

財政経営班主査

畠 中 邦博君

管財契約班長

郷右近 啓一君

管財契約班主任主査

姉崎 裕子君

管財契約班主査

鈴木 健二君

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月4日月曜日分）

税務課

課	長	高橋徳光	君
町民税班	長		
兼固定資産税班	長	佐々木辰己	君
町民税班	主幹	堀越伸二	君
固定資産税班	主査	小畑貴信	君

収納対策室

室	長	石川洋志	君
収納整理班	長	櫻井浩明	君
収納整理班	主幹	福島俊	君

事務局職員出席者

事務局	長	阿部善男	君
主任	主査	櫻井渉	君
主	事	竹内春菜	君
主	事	菊地由佳里	君

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月4日月曜日分）

午後1時10分 開 会

○議会事務局長（阿部善男君） それでは、本会議に引き続きまして、予算審査特別委員会を開催いたします。

利府町議会委員会条例第7条第2項の規定によりまして、年長の郷右近隆夫委員に臨時の委員長をお願いいたします。郷右近委員、よろしくをお願いいたします。

〔臨時委員長 郷右近隆夫君 登壇〕

○臨時委員長（郷右近隆夫君） それでは、年長の委員ということで私が臨時委員長の職務を行います。委員各位の御協力をお願いします。

ただいまから予算審査特別委員会を開会します。

ただいまの出席委員は17名です。

これより予算審査特別委員長の選挙を行います。

お諮りします。委員長の選挙の方法につきましては、指名推選によることとし、私から指名したいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○臨時委員長（郷右近隆夫君） 異議なしと認めます。

後藤 哲君を委員長に指名します。

ただいまの指名に御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○臨時委員長（郷右近隆夫君） 異議なしと認めます。

よって、後藤 哲君が委員長に当選されました。

委員長と交代します。

〔委員長 後藤 哲君 登壇〕

○委員長（後藤 哲君） ただいま予算審査特別委員長に選出されました後藤 哲でございます。

委員各位の特段の御理解と御協力を賜り、円滑な委員会の運営に努めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

それでは、これより予算審査特別委員会副委員長の選挙を行います。

お諮りします。副委員長の選挙の方法については、指名推選によることとし、私から指名したいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（後藤 哲君） 異議なしと認めます。

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月4日月曜日分）

遠藤紀子君を副委員長に指名します。

ただいまの指名に御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（後藤 哲君） 異議なしと認めます。

よって、遠藤紀子君が副委員長に当選されました。

次に、審査日程についてお諮りします。

審査日程については、お配りしております審査日程表により進めてまいりたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（後藤 哲君） 異議なしと認めます。

したがって、日程はお配りしてあります審査日程表のとおり進めてまいります。

審査に入る前に委員各位に申し上げます。本日から10日まで各課長等から予算の所管事項について内容の説明を受けますが、質疑に当たっては1人2問から3問程度とし、それ以上の質疑がある場合には質疑が一巡した後にお願いします。また、質疑の際はわかりやすく簡潔にお願いします。さらに、質疑が重複しないよう関連質疑で対応するようお願いいたします。予算の審査でありますので、趣旨を逸脱しないようお願いいたします。

それでは、審査日程表により**財務課の予算審査**を始めます。

内容の説明に先立ち、財務課長より本日出席している説明員の紹介を願います。財務課長。

○財務課長（小山田春彦君） それでは、財務課の本日出席している職員を順次紹介いたします。

初めに、財政経営班の職員から紹介いたします。

財政経営班長の鈴木真由美です。（「鈴木です。よろしく願いいたします」の声あり）

次に、主任主査の石垣伴彦です。（「石垣です。よろしく願いいたします」の声あり）

次に、主査の畠中邦博です。（「畠中です。よろしく願いいたします」の声あり）

続きまして、管財契約班の職員を紹介いたします。

管財契約班長の郷右近啓一です。（「郷右近です。よろしく願いいたします」の声あり）

次に、主任主査の姉崎裕子です。（「姉崎です。よろしく願いいたします」の声あり）

次に、主査の鈴木健二です。（「鈴木です。よろしく願いいたします」の声あり）

最後に、私、財務課長の小山田でございます。どうぞよろしく願いいたします。

○委員長（後藤 哲君） 次に、所管事項の内容の説明を願います。財務課長。

○財務課長（小山田春彦君） 大変お疲れさまでございます。

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月4日月曜日分）

それでは、平成28年度利府町一般会計予算の概要を御説明申し上げます。

初めに、薄いほうの冊子、利府町各種会計予算書を御用意願います。薄いほうでございます。

1 ページをお開き願います。

第1条歳入歳出予算の総額でございますが、平成28年度は149億6,000万円となり、過去最大規模の予算となった前年度と比較しまして大幅な減となっております。主な要因につきましては、後ほど予算説明書により御説明申し上げます。

8 ページをお開き願います。

第2表継続費でございますが、利府小学校校舎建替え事業につきましては、平成28年度から平成30年度までの継続費を設定するものであります。内容につきましては、予算審査特別委員会において、教育総務課長から御説明いたします。

次に、9 ページをごらんください。

3表の債務負担行為でございますけれども、記載しております7件の事業につきまして債務負担行為を設定するものであります。内容につきましては、予算審査特別委員会において、所管する各課長等から御説明いたします。

10ページをお開きください。

第4表地方債でございますが、記載しております6件の事業の起債を予定しております。

まず、1件目の都市再生整備計画事業につきましては、文化複合施設の整備に伴う新太子堂地区都市再生整備計画事業に充当するため借り入れるものであります。2件目の災害援護資金貸付金につきましては、災害弔慰金の支給等に関する法律に基づき、被災した方々に対しまして貸し付けを行う原資を宮城県から借り入れるものであります。3件目の道路整備事業につきましては、新中道地区土地区画整理事業に関する新砂押迎東浦線道路整備事業や、南町河原線道路整備事業、館ヶ沢線道路整備事業、沢乙1号線外舗装補修事業等に充当するものであります。4件目の公園整備事業につきましては、館山公園駐車場整備事業に充当するため借り入れるものであります。5件目の学校教育施設等整備事業につきましては、しらかし台中学校トイレ改修事業や利府小学校校舎建替え事業に充当するため借り入れるものであります。6件目の臨時財政対策債につきましては、平成28年度における発行可能額を4億8,000万円と見込んでおります。

次に、歳入歳出予算の主な概要を御説明いたします。

厚いほうの冊子でございます。利府町各種会計予算説明書①（一般会計）を御用意願います。

最初に、歳入の総括でございますが、2ページに記載しております歳入合計は149億6,000万

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月4日月曜日分）

円で、前年度と比較しまして18億1,000万円、約10.8%の減となっております。要因といたしましては、1ページになりますが、11款地方交付税につきまして、特別交付税のうち震災復興特別交付税が復興事業の進捗により減額となることから、前年度比で8億4,644万5,000円、約36.6%の減を見込んでおります。

15款国庫支出金につきましては、新たな認可保育所整備に係る補助金や、町内の保育施設運営に係る負担金の増が見込まれます。一方、浜田地区防潮堤整備事業及び須賀地区水門整備事業の進捗に伴い農山漁村地域整備交付金の減により、前年度比で1億5,682万5,000円、約7.1%の減となっております。

16款県支出金につきましては、平成26年度から順次整備を行ってまいりました町内小中学校の太陽発電設備等の設置に係る再生可能エネルギー導入事業が完了したことにより、前年度比で2億4,754万7,000円、約27.5%の減となっております。

19款繰入金につきましては、財政調整基金繰入金や図書館建設基金の繰入金は増となっておりますが、主に復興事業の進捗に伴い東日本大震災復興交付金基金からの繰り入れの大幅な増により、前年度比で7億6,449万8,000円、約19.1%の減となっております。

2ページをお開き願います。

21款諸収入につきましては、平成28年度において2市3町合同で固定資産税算定に係る航空写真の撮影や、都市計画税を作成するに当たり、利府町が幹事となって事業を進めることから、2町からの負担金を計上していることなどにより、前年度比で1億88万7,000円、約28.5%の増となっております。

22款町債につきましては、先ほど第4表地方債で申し上げましたように、6件の事業に充当するもので、前年度比で1億1,920万円、約8.7%の増となっております。

次に、歳出の総括でございますが、3ページをごらんください。

平成28年度におきましても、復興事業の早期完了に向けた着実な推進と、利府小学校建替え事業、文化複合施設整備事業や公共施設の老朽化に伴う修繕事業、さらには少子高齢化に伴う各種事業を初め、町民の皆様に心の豊かさと幸せを実感いただけるよう、将来を見据えた諸施策の展開に予算の重点配分を行っております。

前年度と比較して増減が大きい項目でございますけれども、2款総務費につきましては、東日本大震災復興交付金事業の進捗に伴い12億680万2,000円、約23.3%の減となっております。

3款民生費につきましては、子ども医療費助成事業の対象年齢拡大や、歳入で御説明いたしましたとおり、新たな認可保育所整備に係る補助金、町内の保育施設に関する負担金の増によ

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月4日月曜日分）

り4億3,054万7,000円、約13%の増となっております。

6款農林水産業費につきましては、浜田地区の防潮堤整備事業の進捗に伴う事業費の減や、大友堰改修事業の完了に伴い9億9,218万6,000円、約47%の大幅な減となっております。

次に、140ページをお開き願います。

継続費について御説明いたします。現在、設定している浜田地区1件、須賀地区2件分の継続費ではありますが、記載のと通りの進行状況となっております。また、下段、先ほど御説明いたしました、平成28年度当初予算で設定を予定している利府小学校校舎建替え事業の支出予定となっております。

次に、141ページから155ページまでは、現在設定している149件の債務負担行為の支出額及び支出予定額を記載しております。

また、155ページの下段から156ページには、平成27年度3月補正予算で提案した事業、平成28年度当初予算で設定を予定している事業について記載しております。

次に、最終ページの157ページをお開きください。

地方債の残高についてでございますが、左から3つ目の欄、前年度末現在高見込み額、平成27年度末は121億166万3,000円となり、可能な限り削減に努めているところでございますが、文化複合施設の整備に伴う新太子堂地区都市再生整備計画事業債や、利府小学校校舎建替え事業に伴う学校教育施設等整備事業債の増加により、平成28年度末現在高見込み額は123億8,730万7,000円と、前年度末残高見込み額より2億8,564万4,000円の増加となる見込みであります。

なお、一般会計予算の概要につきましては、別にお配りしている当初予算関係補足説明資料の1ページから8ページにも記載しておりますので、御確認いただきたいと思います。

そのほか、各予算の計上内容の詳細につきましては、予算審査特別委員会において、関係各課より御説明申し上げます。

以上が平成28年度一般会計予算の総括概要でございます。

続きまして、財務課所管の予算の内容についてご説明申し上げます。

5ページをお開き願います。

2款地方譲与税から、7ページ、8款自動車取得税交付金、及び10款地方特例交付金につきましては、平成27年度の交付実績や宮城県の見込み額通知などから計上しております。

7ページをごらん願います。

11款1項1目地方交付税につきましては、一般会計予算の概要で御説明したとおり14億6,545万9,000円で、前年度から8億4,644万5,000円の減となっております。このうち、震災復興特別

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月4日月曜日分）

交付税以外につきましては、前年度並みの交付を見込んでおるところでございます。

次に、8ページをお開き願います。

13款1項1目1節庁舎管理負担金190万円につきましては、庁舎の維持管理費に要する水道事業所分の負担金でございます。

9ページをごらんください。

14款1項1目1節町民交流館使用料20万6,000円につきましては、町民交流館研修室の使用料を計上しております。同じく、3節行政財産使用料のうち庁舎等使用料の57万4,000円につきましては、庁舎等の銀行ATMや自動販売機などの設置に係る使用料を計上しております。

21ページをお開き願います。

17款1項1目1節土地建物貸付収入839万7,000円につきましては、飯土井住宅跡地や旧役場庁舎プレハブ等などの貸し付けが主なものでございます。

22ページをお開き願います。

19款2項1目1節財政調整基金繰入金13億8,623万9,000円につきましては、復興事業の財源や通常の財源不足等により繰り入れする財政調整基金、あるいは公債費の償還に充当するために計画的に繰り入れる減債基金を計上しております。

23ページをごらんください。

同じく、7目1節東日本大震災復興基金繰入金3,567万円につきましては、須賀漁港活性化工事や防災備蓄事業などに充当するものであります。

26ページをお開き願います。

22款1項町債につきましては、先ほど一般会計の概要で御説明した内容となっております。

次に、歳出につきまして御説明申し上げます。

32ページをお開き願います。

2款1項3目財産管理費1億7,385万8,000円につきましては、役場庁舎や公用車、公有財産の維持管理に要する経費を計上しております。なお、前年度と比較して2,162万6,000円の増となっておりますが、公共施設等総合管理計画策定事業や町有財産固定資産台帳整備事業の実施に伴う委託料の増となっているところでございます。

35ページをお開き願います。

同じく、4目財政調整基金費286万2,000円でございますが、財政調整基金と減債基金の利子の積み立てを計上しております。

同じく、5目財政管理費7,277万1,000円につきましては、財政経営班分の人件費の計上と公

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月4日月曜日分）

共施設整備基金への積み立てが主なものでございます。

133ページをお開き願います。

12款1項公債費1目元金12億515万6,000円でございますが、前年度から8,780万5,000円の増となっております。その主な要因は、過去に借り入れた浜田駅前赤沼線道路整備事業や臨時財政対策債などの元金償還が始まることによるものであります。

同じく、2目利子1億5,440万2,000円でございますが、平成27年度の借り入れ実績や償還期間の延伸による利率見直しに伴い1,211万6,000円の減となっております。

以上が財務課所管の予算の説明でございます。よろしく御審議のほどお願い申し上げます。

○委員長（後藤 哲君） 内容の説明が終わりましたので、直ちに質疑を行います。

質疑の発言を許します。質疑ありませんか。11番吉田委員。

○吉田裕哉委員 それでは、3点質問いたします。

まずは、26ページです。臨時財政対策債についての考え方をお尋ねしたいと思います。

今年度5億円が、4億8,000万円ということで、これは限度額という考え方でよろしいのか。この4億8,000万円についてお尋ねいたします。

2点目が、33ページ、公共施設等総合管理計画についてです。こちらにつきましても、昨年、債務負担で新年度取り組んでいくという御説明がありましたが、総合管理計画のもう少し詳細、公共施設といいましても、道路や橋梁なども全て含めて計画を策定していくのか、二千何十年まで、何十年スパンの計画で策定していくのか。それから、状況把握だけではなくて、統合していくとか、実際の運用といえますか、対策まで踏み込んだところまでも計画につくられていけるかどうか。その辺、これからの取り組み次第を説明していただきたいと思います。

それから、3点目、最後が157ページです。

今、ご説明がありましたように、前年度末現在高見込み額121億円から123.8億円に地方債が増加してしまうと、予算編成時においてですけれども、やはり2年連続、地方債残高が減らない、むしろ増加してしまうということです。細かく見れば、どれも必要な事業に費やすということでやむを得ないところはあるんですが、全体で見た場合、今まで一般質問などでも答弁いただいておりますが、借り入れが償還を上回らないと。借金をするより、返済する額を多くしていこうというのが、ちょっとできていないのではないかなと思いますので、その辺の考え方をお尋ねいたします。

以上です。

○委員長（後藤 哲君） 当局、答弁願います。鈴木班長。

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月4日月曜日分）

○財務課財政経営班長（鈴木真由美君） 11番吉田委員の御質問にお答えいたします。

臨時財政対策債の金額は限度額かということですが、こちらは限度額ということで見込んでおります。

3点目の157ページの、借入れが償還を上回ったことの説明をとということなんですけれども、委員も御存じのとおり、平成28年度から利府小学校の建てかえ工事が進捗することによりまして、どうしても26年度、27年度よりもこちらの起債の借入額が大きくなると捉えております。

また、総務関係の事業についてなんですけれども、文化複合施設の計画につきましても、基本計画から今度は実施設計という形で事業が進捗するに当たり、こちら増額となっていくのは仕方ないなということ捉えております。

さまざまな事業が今から進められていくことになるんですけれども、その時点で、できれば自主財源で全ての事業を行うことが一番好ましいとは考えております。ただ、今の時点で交付税関係も大分減っている、その他の税収とかも若干の増はありますが、かなり減っているということがございますので、一時的な借入れの増はやむを得ないと考えております。

以上です。

○委員長（後藤 哲君） 2点目、郷右近班長。

○管財契約班長（郷右近啓一君） それでは、吉田委員の御質問にお答えいたします。

公共施設の、まず詳細ということで、公共施設の範囲、1点目。委員、おっしゃるとおり、庁舎、学校などの建築物のみではなく、道路、橋梁、インフラ、公園、水道、下水道までの全てをこの計画の範囲としております。

2点目、期間につきましてでございますが、これにつきましては、平成29年4月から40年3月までの10年間の期間と定めております。内容につきましては、維持、更新のみならず、必要があれば統廃合と長寿命化等々の方向性もお示しするというような内容でございます。

以上です。

○委員長（後藤 哲君） 11番吉田委員。

○吉田裕哉委員 わかりました。総合管理計画については理解しました。

26ページの臨時財政対策債についてですが、先ほどの説明、公債費のほうですかね、こちらの償還が始まるというような話がありました。累計でも、臨時財政対策債というのは、そもそも国が悪いんですけれども、国が地方交付税で出すべきところが足りないということで、町で借金をしてくれと、そのかわり後で補填しますよということやっておりまして、利府みたい

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月4日月曜日分）

な小さい町ですと、額もまだ少ないかなとは言えるんですけども、町の責任において借りたお金で、また返していかなければいけないんですが、これを毎年、限度額いっぱい借りていくということよりは、むしろ抑えていくことを目指さないといけないのではないかなと思うんですが、やはり頼らざるを得ないというところなのか。その辺の考えをお答えいただきたいと思います。

また、最後の157ページのほうなんですけど、一時的な借り入れの増加はやむを得ないだろうというような見解ですが、これは副町長にぜひお答えいただきたいんですが、やはり町全般を見渡した場合に、今後もこうした大規模な老朽化対策事業などで借り入れをせざるを得ないことがふえていくことが、先ほどの総合管理計画などからも明らかになってくると思うんですけども、そのために、やはり行革も含めて公債費返還に力を入れていくという姿勢がなかなか、ちょっと弱いのではないかなと思うんですが、その辺の考え方をもう一度お尋ねしたいと思います。

○委員長（後藤 哲君） 当局、答弁願います。1点目、鈴木班長。

○財務課財政経営班長（鈴木真由美君） 11番吉田委員の再質問にお答えいたします。

臨時財政対策債について、借り入れを抑える必要があるのではないかという御質問でしたが、こちらで平成24年度からの発行可能関係を調べているんですけども、こちらから比較しますと、大分下がってはきている状況になります。24年度で大体6億5,000万円。今、現時点で4億8,000万円ということになりますので、こちらは減っているものと考えております。

また、こちらの起債につきましては、地方交付税の不足額を本来であれば国で町に交付しなければいけないものを町で借金しているものでございます。委員、おっしゃるとおりなんですけれども、やはりこちらでも借り入れを本来であればしないで、全ての事業が町としてもできればいいんですけども、なかなかその辺は状況的に難しいということで、借り入れに関しましても、ある程度の抑制をしながら、町の歳入の状況がよければ借り入れを抑制しながら、できる限り対応をしてみたいとは考えております。

○委員長（後藤 哲君） 3点目、副町長。

○副町長（伊藤三男君） それではお答えします。

私が答えようかなと思った全てを今、担当の者が申し上げました。

御承知のように、これまで学校であったり、いろんな事業に単年度で処理しきれない費用については起債を仰いでやってきたという経過があります。これは起債制度で一つの考え方、その当該年度の負担のみではなく、やっぱり皆さん方、町民が長い間使っていくということであ

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月4日月曜日分）

れば、後年度負担も求めていくべきではないかという趣旨にのっとった起債制度があるわけ
でございます。

そういうことで、町も、先ほど担当が申しあげましたように、借りなければなお結構なんで
すが、どうしても借りないと住民の福祉向上に結びつかないという場合は、やはり必要な財源
の一つとして、これからも検討していきたいと考えています。

以上です。（「はい、いいです」の声あり）

○委員長（後藤 哲君） ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（後藤 哲君） 質疑がありませんので、以上で財務課の予算審査を終わります。

どうも御苦労さまでした。当局は退席願います。

ここで暫時休憩とします。

再開は14時05分とします。

午後1時49分 休 憩

午後2時02分 再 開

○委員長（後藤 哲君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

それでは、審査日程表により**税務課の予算審査**を始めます。

内容の説明に先立ち、税務課長より本日出席している説明員の紹介を願います。税務課長。

○税務課長（高橋徳光君） 委員の皆さん、お疲れさまでございます。

それでは、本日出席しております税務課の職員を紹介いたします。

初めに、町民税班の職員から紹介いたします。

町民税班長兼固定資産税班長、佐々木辰己です。（「佐々木です。よろしく願います」
の声あり）

続いて、主幹の堀越伸二です。（「堀越です。よろしく願います」の声あり）

続きまして、固定資産税班の職員を紹介いたします。

主査の小畑貴信です。（「小畑です。よろしく願います」の声あり）

最後に、私、税務課長の高橋徳光です。よろしく願います。

○委員長（後藤 哲君） 次に、所管事項の内容の説明を願います。税務課長。

○税務課長（高橋徳光君） それでは、税務課所管の当初予算につきまして、一般会計予算説明
書①により御説明申し上げます。

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月4日月曜日分）

初めに、歳入であります。4ページをお開き願います。

1款1項町民税から3項の軽自動車税まで、現年課税分につきまして御説明いたします。

1款1項1目1節個人町民税現年課税分につきましては18億2,773万7,000円で、前年度と比較し2,197万6,000円の増となっております。その主な要因といたしましては、納税義務者数の増加や個人所得が増加傾向であり、平成27年度の実績見込み額に基づき計上しております。

2目1節法人町民税現年課税分につきましては2億4,627万5,000円で、法人税割の税率が12.3%から9.7%に引き下げられたことにより、前年度と比較し4,216万6,000円の減となっております。

2項1目1節固定資産税現年課税分につきましては20億5,354万8,000円で、土地及び家屋については平成27年度実績見込み額に基づいて、前年度と比較し増となっております。償却資産につきましては、減価償却により前年度と比較し減となっております。なお、家屋の新築による税額の増加により、全体では2,804万円の増となっております。

5ページをごらんください。

3項1目1節軽自動車税現年課税分につきましては7,203万4,000円で、延期となっております。軽四輪車及び二輪車等による税率の引き上げに伴い、前年度の実績及び登録状況から、前年度と比較し615万2,000円の増となっております。

4項1目市町村たばこ税につきましては2億9,880万円で、前年度の実績見込みに基づき計上しており、前年度と比較し120万円の減となっております。

次に、11ページをお開き願います。

2項1目1節税務手数料、諸証明交付手数料につきましては189万6,000円で、受付窓口などの課税証明書など発行した際の手数を前年度の実績見込みに基づき計上しております。

20ページをお開き願います。

16款3項1目4節徴税費委託金につきましては5,384万3,000円で、県民税取扱費として宮城県からの通知額を計上しております。

なお、町税関係の詳細につきましては、別にお配りしております当初予算関係補足説明資料、13ページから26ページに記載してありますので、御確認願いたいと思います。

次に、歳出につきまして御説明申し上げます。

41ページをお開き願います。

2款2項1目税務総務費1億5,793万円につきましては、前年度と比較し4,472万8,000円の増で、町税賦課事務に要する経費を計上しております。その主なものの要因といたしましては、

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月4日月曜日分）

41ページから42ページの13節委託料のうち、平成30年度評価がえに向けてのもので、固定資産管理システムデータ入力業務及び塩釜地区2市3町固定資産税航空写真同時撮影業務の委託であります。

以上が税務課所管の当初予算の説明でございます。よろしく御審議のほどお願い申し上げます。

○委員長（後藤 哲君） 内容の説明が終わりましたので、直ちに質疑を行います。

質疑の発言を許します。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（後藤 哲君） 質疑がありませんので、以上で税務課の予算審査を終わります。

どうも御苦労さまでした。当局は退席願います。

収納対策室の審議を行いますので、そのままお待ち願います。

それでは、審査日程表により**収納対策室の予算審査**を始めます。

内容の説明に先立ち、収納対策室長より本日出席している説明員の紹介を願います。対策室長。

○収納対策室長（石川洋志君） 委員の皆さん、お疲れさまでございます。

それでは、本日出席している説明員を御紹介いたします。

収納整理班長の櫻井浩明でございます。（「櫻井です。よろしく申し上げます」の声あり）

次に、主幹の福島 俊でございます。（「福島です。よろしく願いいたします」の声あり）

最後に、私、収納対策室長の石川洋志でございます。よろしく願いいたします。

○委員長（後藤 哲君） 次に、所管事項の内容の説明を願います。収納対策室長。

○収納対策室長（石川洋志君） それでは、収納対策室所管の平成28年度当初予算の内容を説明いたします。

収納対策室の所管業務は、町税のほか、特別会計の国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料の徴収事務を所管しておりますので、あわせて御説明申し上げます。

初めに、予算説明書①（一般会計）の4ページをお開き願います。

歳入の1款1項町民税から3項軽自動車税までの滞納繰越分を御説明申し上げます。

なお、算定根拠につきましては、別冊の当初予算関係補足説明資料、27ページに記載しておりますので、参考に願います。

1款1項1目個人町民税2節滞納繰越分につきましては、対前年度比206万円増の1,745万

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月4日月曜日分）

7,000円を計上しております。

2目法人町民税2節滞納繰越分につきましては、対前年度比5,000円増の19万7,000円を計上しております。

2項1目固定資産税2節滞納繰越分につきましては、対前年度比670万2,000円減の2,141万4,000円を計上しております。

3項1目軽自動車税2節滞納繰越分につきましては、対前年度比7万8,000円増の59万4,000円を計上しております。

次に、11ページをお開き願います。

14款2項1目総務手数料1節税務手数料のうち督促手数料につきましては、対前年度と同額の100万円を計上しております。

次に、23ページをお開き願います。

21款1項1目1節延滞金につきましては、対前年度比40万円増の600万円を計上しております。

次に、25ページをお開き願います。

21款5項2目1節滞納処分費のうち1万円は、差し押さえ財産の公売手続費用であります。

次に、歳出について御説明申し上げます。

42ページをお開き願います。

2款2項2目徴税費6,814万8,000円は、徴収事務に要する経費であります。前年度と比較いたしますと622万3,000円増加しておりますが、主な理由につきましては、一般職員の1名増員によるものであります。

2節給料2,611万4,000円は、対前年度比267万8,000円の増となっております。

12節役務費の通信運搬費（郵便料）283万4,000円につきましては、督促状等の郵送に要する経費でございます。また、口座振替手数料33万9,000円につきましては、口座振替に要する経費でございます。

13節委託料363万5,000円につきましては、コンビニ収納に要する経費でございます。

以上が一般会計の分でございます。

続いて、予算説明書②の特別会計について御説明申し上げます。

初めに、国民健康保険特別会計について御説明いたします。

予算説明書②の4ページをお開きいただきます。

歳入の1款1項1目一般被保険者国民健康保険税は、4節医療給付費分滞納繰越分2,569万

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月4日月曜日分）

6,000円、5節後期高齢者支援金分滞納繰越分886万7,000円、6節介護納付金分滞納繰越分408万5,000円を計上しております。

2目退職被保険者等国民健康保険税は、4節医療給付費分滞納繰越分104万8,000円、5節後期高齢者支援金分滞納繰越分26万円、6節介護納付金分滞納繰越分21万6,000円を計上しております。

なお、滞納繰越分全体では、対前年度比469万4,000円の減額となっております。

次に、29ページをお開き願います。

介護保険特別会計について、歳入の1款1項1目第1号被保険者保険料2節滞納繰越分保険料につきましては、対前年度比3,000円減の19万3,000円を計上しております。

続いて、49ページをお開き願います。

後期高齢者医療特別会計について、歳入の1款1項2目普通徴収保険料2節滞納繰越分につきましては、対前年度比14万2,000円増の76万2,000円を計上しております。

以上が平成28年度収納対策室所管の予算の説明でございます。よろしく御審議のほどお願い申し上げます。

○委員長（後藤 哲君） 内容の説明が終わりましたので、直ちに質疑を行います。

質疑の発言を許します。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（後藤 哲君） 質疑がありませんので、以上で収納対策室の予算審査を終わります。

どうも御苦労さまでした。当局は退席願います。

それでは、最終日に総括して質疑する事項の取りまとめ、並びに現地調査箇所の選定を行います。御意見ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（後藤 哲君） 総括質疑並びに現地調査がないようですので、これで本日の予算審査特別委員会を散会いたします。なお、3月7日は午前9時30分から特別委員会を再開しますので御参集願います。

どうも御苦労さまでした。

午後2時20分 散 会

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月4日月曜日分）

上記会議の経過は、事務局長阿部善男が記載したものであるが、その内容に相違がないことを証するためここに署名する。

平成28年3月4日

臨時委員長

委員長